

招待状

久保利明様

「自連ぶつつぶしキャンプ」に参加したあと、如何おすごしですか？　あなたが帰ったあとも、ぶり返してきた暑さの中、Aアジトではつぶす作業がずっ続いていきます。アンケートを読んで問題を抽出する。資料を分類して目録をつくる。合本づくりのために残部のない号を複製印刷する……。

いやエエカッコするのは止めになります。へぶつつぶしキャンプがどんなものかは、実際に参加したあなたが一番よく御存知のはずですから。

心から、あなたに、心からよびかけます。ぜひ参加して下さい。(また)アジトに来て下さい。(ゼヒ)

自連ぶつこわし大会?

日時

九月一五日(老人の日)

午後1時より

場所

大阪Aアジト(宿泊可)



あなたにはへぶつつぶしキャンプに参加したことで何かを得られましたか？　仕事を手伝わされただけ、ではありませんか？　そんな風になかへぶつつぶしへは進んできませんでした。40号の1も2も39号までと殆んど変わらない作り方しかできていません。「やりうべくしてなさなかったことをやる」と言いながら、実は、やってきたことを繰り返しただけではないのか。今頃は、悔恨を込めて、この「招待状」を書いていきます。後悔先に立たず、とは言いますが、今ならまだ間に合う、そう信じています。

参加したあなたに次のことを考えてきてほしいのです——つぶすと聞いてどう思ったか、何をしにAアジトへ行ったか、そこで何をやり何を話し何を感じたか、自連ぶしについて今どう思っているか、また、Aアジトへ行かずにできることは？——など。

当日、それを持ち寄って話し合いたいと思います。40号の紙面に出てきた声は、殆んどがアジトに来ていない人のものです。実際に作業に加わった人の声を、紙面に、或いは今後のつぶし方に、反映させたいと思っています。

ぜひ参加して下さい。何をおいても来て下さい。敢えて言います——今あなたは「社員」ですか？(ウラへ)

この招待状は、主に「ぶつづしキャンプ参加者」に出しています。これから参加しようとする人も、勿論歓迎します。飛石連休でもありますから、ぜひ来て下さい。

「キャンプ」参加者のあなた、どうしても来れぬときは、せめて手紙なりと送って下さい。Aアジト行動記、行く前と後のちがい、など。

では、九月一五日・アジトで。 再見。

自由連合社 黒川遼こと ちろろ 哲王

P.S 当日、ばくは参加できません。広島での「非暴力直接行動セミナー」に行っています。よびかけておいて無責任と思われるかも知れませんが、ばくにとっては両者は密接に関連していますし、当日出席する代わりの役割を果たすつもりです。決してなおざりにしている訳ではありません。あなたが出席されることを切に望みます。

ぜひ来ておくんは

さーまー。